

まかせてください! つなぎます! だいじな声を、カタチにします!

各種相談窓口をご利用ください

大人の救急電話相談
救急安心センターきょうと

#7119 (0570-00-7119)
(24時間 365日)

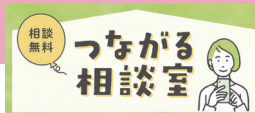
きょう・こころ・ほっとでんわ
(自殺予防相談)

075-321-5560 (24時間)

つながる相談室(女性)

075-275-0280

月～土曜(水曜休室) 10:00～17:00
希望者に面談相談あり・オンラインもOK



女性のための相談支援センターみんと
困難な問題を抱える女性への支援

075-874-6312
月～土 9:00～17:15

京都市DV相談支援センター

#8008 もしくは **075-874-4971**
月～土 9:00～17:15

京(みやこ)安心すまいセンター
すまいの相談

075-744-1670

小児救急電話相談
子どもの急病やけがのとき

#8000 (075-661-5596)
19:00～翌朝8:00 (土曜日は15時～)

こども相談24時間ホットライン
(高校生までの子ども及び保護者)

#7333 (年中無休・24時間)

男性のための相談

075-277-1326 (相談専用電話)
第2・4火曜 19:00～20:30

075-275-9933 (面談・予約専用電話)
月・木・金・土曜 10:00～17:00
火曜 10:00～20:00



京都市ひとり親 支援センター ゆめあす

075-708-7750
<https://yumeasu.com/>



京都市政の情報、各種手続きなど
京都いつでもコール(京都市)

075-661-3755

京都市LINE公式アカウント

<https://line.me/R/ti/p/NacPlv5UmP>



松田けい子 プロフィール

- 生年月日 1966年8月18日生まれ
- 出身 京都市左京区(しし座 O型)
- 家族 夫と1男3女(双子含む)の6人家族
- 趣味 読書・スポーツ観戦
- 好きなもの トマト・花・花柄・陶器好き
- 座右の銘 「生き行く力を持つ人は常に強く、常に感謝ある人は幸いなり」

- 防災士、認知症サポーター
- 1985年 関西創価高等学校卒業
- 1987年 京都コンピュータ学院卒業
- 2019年 京都市会議員初当選(現2期目)
- 2022年 教育福祉副委員長
- 2023年 まちづくり委員長



最新情報は
こちらから



公式サイト
<https://matsuda-keiko.com>



—KOMEITO—
公明党

まつだ
京都市会議員 松田けい子 市政報告

第14号
2025

まつだより

まかせてください! つなぎます! だいじな声を、カタチにします!



みなさまのご意見・ご要望をお聞かせください。
「ちっさなチカラもち」あなたの声に寄り添います。

まつだ
公明党 京都市会議員 松田けい子

〒607-8162 京都市山科区柳辻草海道町4-7 イーグルコート柳辻3アベックス202
TEL:070-2266-9499 FAX:075-330-6540
メール:omoiyari.km@gmail.com

松田けい子

検索

1 デジタルで市民の利便性向上へ！

わかりやすさ・使いやすさを重視したホームページの充実を。
市民にサービスを届けるプッシュ型サービスの構築を。

2 介護事業所の負担軽減へ支援拡充！

介護サービスにおける ICT 化の推進を。

3 医療的ケア児等への災害対策を！

訪問看護事業所や医療関係者との連携による個別避難計画の作成、
避難訓練実施等の対策拡充を。

4 山科の更なる魅力向上や活性化を！

琵琶湖疎水施設を活用した、教育・文化・観光・まちづくりを。



代表質問の
動画は
こちらから



令和8年度 予算要望書を提出

令和7年10月16日(木)、公明党京都市会議員団として、松井市長に、全91項目にわたる、令和8年度予算への要望を提出しました。

要望の中の一項目である、「不安を抱えた妊婦らに寄り添う妊婦等支援事業や産後も母子への心身のケアなどを行う訪問型を含めた産後ケア事業の着実な推進」は、私が令和7年2月市会、代表質問で「産後ケアを担うドゥーラ」を取り上げたことに起因しています。また、私からは、「新規項目9項目は、昨年の予算要望より1年、それぞれが地域を歩き、市民の声を吸い上げ、その中から厳選した項目となっており、まさしく我が党の掲げる、平和・教育・福祉の分野からの提案となったこと、そして、限られた財源の中で、どのような優先順位をつけて、市政運営にあたられるのか」と質問。松井市長からは「公明党からは、いつも時期を得た的確な提案を頂いている。皆と協議しながら、市民のための施策となるよう、しっかりと取り組む」と返答がありました。皆様の声が、市政に反映されるよう、全力で取り組んでまいります。



小さな声から安全対策



普段は足を取られないように気をつけて歩いても、ごみ出しの日は片手にごみ袋を持っているので、つい足を引っかけて倒れそうになることも！とお声を寄せて頂きました。
(小山中ノ川町)

道路から水が染み出て少しづつ量が増えていますと不安の声が。調査の結果、水道管路の補修が行われました。(御陵岡町)



マンガと戦争展2を視察

10月16日、公明党京都市会議員団で、京都国際マンガミュージアムで開催中の「マンガと戦争展2」を視察。

学芸員の方から、現代の戦争漫画における新たな表現とテーマの変遷についての説明があり、「戦争がまだ続いている」という感覚を最も象徴する地域として沖縄が取り上げられ、その重要性が語られました。10年前の展示に続き、今回も「新沖縄」という形で沖縄をテーマにした作品が紹介され、現代の戦争漫画を語る上で不可欠なテーマであるとしています。

公明党は今年5月、戦後80年、被爆80年、国連創設80年という節目に合わせて「平和創出ビジョン」を取りまとめました。「平和の党」としての使命をこれからも果たしてまいります。



岡山市 介護事業 トリプルAAAを視察

高齢者の方々が要支援・要介護状態となっても、生きがいや社会とのつながりを持つ、高齢者活躍推進事業を視察しました。これは、通所介護事業所を拠点として、利用者が地域企業等と連携し、個々の状態に応じた就労的な社会参加活動を行う「ハタラク」という名称の事業。この事業は、収入を得ることを目的とするのではなく、活動を通じて自分の役割を実感し、社会に必要とされているという喜びや自信を持つことを重視している点が大きな特徴です。

代表質問で
要望しました！

